ク留米大学病院 心雑音外来のご案内

2025年4月1日 新しく専門外来を開設します

心雑音に悩む・困っている などあれば

お気軽にご相談ください





心臓血管外科 教授 田山 栄基

ご挨拶

まずは聴診していただき、聞き慣れない 音がございましたら、お知らせ頂けると 幸いです。

皆様から頼られる病院を目指して、引き 続き紹介しやすい環境を整えて参ります。 今後ともどうぞよろしくお願い致します。



心臓血管内科 教授 福本 義弘

診療時間	月	火	水	木	金
午前 (8時半~12時)					
午後 (15時~17時)					

心不全パンデミックがきた!

心不全の罹患者率は高齢になればなるほど高くなることが知られています。以前の研究によると、50歳代での慢性心不全の発症率は1%であるのに対し、80歳以上では、10%になることが報告されています。2025年2月の久留米市の65歳以上の高齢者は10万人を超えさらに80歳以上の超高齢者は約5万人となっています。





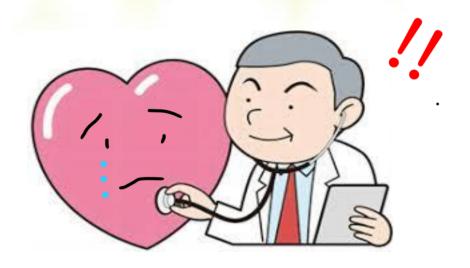
この状況下で、すでに当院の循環器病棟は心不全の患者さんが増えており、さらに その多くが緊急入院となっています。

そのため、受け入れが困難となる事例も発生しています。

久留米筑後地区では今後も高齢者の人口が増えることが予測されます。引き続き質の高い医療を提供するため、心不全発症前に診断と治療を行い、心不全罹患者率を増やさない取り組みが必要です。

心不全パンデミックに対する取り組みとして心雑音外来を始めます

心不全を起こす様々な疾患の中でも弁膜症による心不全は、"防ぐことのできる心不全"、"根本的な治療ができる心不全"です。特に大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症はカテーテル治療の普及により、高齢者にも積極的に治療介入ができるようになりました。大動脈弁狭窄症は、加齢による大動脈弁硬化が主な成因で、長寿国日本ではもっとも遭遇する機会の多い弁膜症です。初期診断は聴診で行われることがほとんどです。聴診で雑音がある場合には心エコーでの重症度判定を行います。



まず診察時に聴診をしていただき、雑音があると感じられた場合には、ぜひ久留米 大学病院循環器病センターの心雑音外来へご紹介ください。循環器専門医が聴診な どの診察を行い、弁膜症や他の心疾患がないか心エコーなどの検査を行います。 結果によっては当院で加療を行うこともありますし、紹介元医療機関の先生方と連 携し引き続きフォローをお願いすることもあります。

心臓弁の役割

心臓は4つの部屋に分かれています。4つの 肺動脈
部屋の間にある弁は、血液を送り出す時
には関き、血液を送り出したあとは素早く
閉じて、血液が逆流しないようにしています。



心臓弁膜症

心臓弁膜症は、弁に異常が生じて心臓が正しく機能しなくなる病気です。 特に大動脈弁と僧帽弁は、全身に血液を送り出すために高い圧がかかり、 異常が起こりやすいとされています。

僧帽弁閉鎖不全症

弁が閉じなくなり、血液が逆流 します。弁の構造が壊れた場合や、 心筋梗塞などで心臓の動きが 悪くなってしまった場合に発症 します。

大動脈弁狭窄症

心臓弁膜症の中で最も多く、 弁が石灰化して硬くなり開き にくくなります。加齢性のほか、 先天性、リウマチ性の原因に より発症します。

セルフチェック・

- □ 散歩の途中に立ち止まることが多くなった
- □トイレに行くだけで胸がドキドキする
- □ お風呂掃除や洗濯物を干すだけで息が切れる
- □ 早足で歩くと胸が痛むことがある
- □ 突然気を失ってしまうことがある

1つでも当てはまれば心臓弁膜症の可能性があります ※このセルフテェックリストは、終日極偏の意見を参考に作成しました

治療法

心臓弁膜症は早期発見と治療で完治が可能な病気です。保存療法を続けて いきながら適切なタイミングで開胸手術またはカテーテル治療を行う必要が あります。

軽症・中等症の場合/保存療法

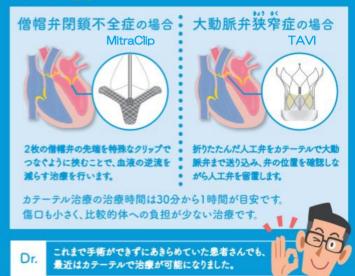
心臓の負担を軽くする利尿薬や血管拡張薬のほか、不整脈の患者さんには抗不整脈薬や抗血栓薬、高血圧の患者さんには降圧薬などの薬を使用します。

重症の場合/ 開胸手術・カテーテル治療

開胸手術

多くの場合、人工心肺を使って行われます。 弁を修復する方法と、新しい弁に置き換える方法があります。

カテーテル治療



ぜひお気軽にご連絡ください

TAVIインフォメーション





久留米大学病院ハートチーム TEL;0942-31-7567(医局直通) FAX;0942-35-8967(医局直通)

文責 心臓血管外科 准教授 髙瀬谷徹 e-mail; <u>ttakaseya@med.kurume-u.ac.jp</u> 外来日;每週火曜日

alité.